



名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長 / 宮崎 良一 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 東山 直史
 ■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

秋の家族会

於：名古屋ブルーノート 17:20～

第1023回

2012年11月6日(火) 晴れ 第17回

～ロータリー財団月間・世界インターアクト週間(11/5を含む1週間)～

出席 会員 59名 (出席率算入人数 53名)
 出席 46名 出席率 86.79%
 前々回補填率 96.30%(10月16日分)

秋の家族会

■公演アーティスト マリーン

第1024回

2012年11月13日(火) 曇り 第18回

～ロータリー財団月間・世界インターアクト週間(11/5を含む1週間)～

斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
 出席 会員 59名 (出席率算入人数 50名)
 出席 46名 出席率 92.00%
 前々回補填率 86.05%(10月23日分)
 ゲスト 地区ロータリー財団職業研修チーム
 委員会 委員長
 小牧ロータリークラブ 会長
 鈴木 文勝さん

11月の誕生日

2日 野々村憲吾さん 5日 鈴木 清詞さん
 7日 猪村 美之さん 10日 東山 直史さん
 16日 鈴木 享さん 21日 吉木 邦男さん

配偶者誕生日

1日 榊原 明枝さん 1日 川瀬 和子さん
 13日 田中 裕子さん 17日 出田 郁さん
 18日 本多 慶子さん 18日 杉本 幸子さん

副会長あいさつ

副会長 浅井 浩さん

皆さま、こんばんは。私が入会したのは57歳の時で、今は72歳なので15年間この名南RCに参加させてもらっています。大変有意義に過ごさせてもらいました。

一番自分で目標にしていたのが皆出席で、結果9年と11ヶ月で高熱が出てやむなくダウンしまし



た。その後は目標がなくなったというのか力が抜けて、色々と担当しながらなんとなくという感じでダラダラと今日まで来てしまいました。

今年度から副会長となり、最初に田原パシフィックRCの方へ参りました。次の目標に、色々なロータリーへ行く事もマンネリ化から脱皮するのにいいのかと感じています。自分でどんなプランが出来るのかわかりませんが、少し挑戦をしてみたいと思います。

ただ、年齢が増すごとに段々と面倒になってきて、情熱を込めて行動することからちょっと足を控えるようになりました。

それと、先だって地区大会へ行って参りました。15年前にも新人で地区大会へ行き15年間で10回ぐらい行きましたが、15年前とあまり変化がないなあと思えました。地区大会で人数を聞きましたら、登録の人が2,400人で一人あたり12,000円だそうです。ざっと計算して3,000万円ぐらいですが、この2日間の地区大会は意義があるのかと疑問に感じました。内容によっては1日で済ませられそうです。デフレで厳しい中にロータリーはこのままでいいのか?と感じました。地区大会はメインのセレモニーのようですが、もっと若い方が入会しやすいようなロータリーにしていけないと今のままでは荷が重いような気がします。

どの業界も下降している今、個人的にですがロータリーの内容ももう一度精査する必要があるのではないかと思います。これを機に、私もロータリーのあり方を一つ一つ噛み締めて頭の中に入れてたいと思います。今日もいいお話を期待しておりますので、是非よろしくお祈りします。

幹事報告

幹事 坂本 晃さん

1. 出席袋の中に入れていただきましたが、先月NPO法人の丹羽さんに卓話を頂いた、東日本大震災の『クリスマスチャリティーコンサート』で私も名古屋名南RCが他の団体と協賛致します。12月24日(月・祝)に行われますので是非現地へ足を運んでいただき、ロータリー財団の補助金の要件として、「ロータリアンが汗をかく」ということなので、会場の整備や案内などに積極的に参加していただきたいと思っております。チケットが4,000円となっていてその内1,000円を福島の子供達へのプレゼントに充てることになっています。メンバーにつきましては名南RCより負担させていただきます。同伴のご家族の分は実費でお支払い

たきます。コンサートの目的は「福島の子供達を励ます」事なので、是非出席して沢山のロータリアンに励ましてもらいたいと思いますのでよろしくをお願いします。

2. 海外出張届けが出ております。三浦 隆さんが11月13日から20日までアメリカ東海岸へ出張です。

ニコボックス

- ◆ 本日は地区ロータリー財団職業研修チーム委員会委員長鈴木文勝さんの卓話です。勉強させていただきました。 多数会員より
 - ◆ 先日の秋の家族会の時は、会員の皆さんやご家族の皆さんに多数ご参加頂きましてありがとうございました。 大橋さなえさん
 - ◆ 御礼 朝比美和子さん
- 本日合計 46,000円 累計 506,700円

ごあいさつ

朝比美和子さん

皆さま、こんばんは。先日は、私の父の葬儀にお参り下さいまして本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

委員会報告

- ロータリー財団委員会 委員長 川村 繁生さん
皆さま、こんばんは。今月はロータリー財団月間です。毎年皆様にお越し頂くの方に頂いておりますが、来週・再来週にかけてまたお願いさせていただきますのでよろしくお願いします。

同好会報告

- 混声合唱団 世話役 川辺 清次さん
皆さま、こんばんは。先日もご案内致しましたが、我が名南RC混声合唱団、創立20周年を迎えました。ささやかですが、11月25日に記念パーティーを行いたいと思いますので、合唱団以外の方も是非ご家族揃ってご参加いただきたいと思っております。午後5時よりメルパルクにて行います。楽しい会にしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

ロータリー財団委員会担当卓話

■卓話者紹介

ロータリー財団委員会 委員長 川村 繁生さん
今日はロータリー財団の鈴木委員長に、財団について色々とお話を伺いたくお越しいただきました。

まず、鈴木さんの経歴を少しお話させていただきます。職業研修チーム委員会の委員長でございます。お仕事は、電子部品製造で株式会社美鈴工業の代表取締役社長でございます。ロータリーに関しては1998年4月入会、その後色々な委員長をやられています。2007-08年には東尾張分区分ガバナー補佐幹事、2008-09年には副幹事、2009-



10年には幹事をされています。現在は小牧RCの会長です。

地区の職業研修委員長は2010年から今年で3年目になりますが、引き続きやっただいております。大変いいお話が聞けると思っていますので、よろしくをお願いします。

■ロータリー財団未来の夢計画について

地区ロータリー財団職業研修チーム委員会
委員長 鈴木 文勝さん

皆さま、こんばんは。只今ご紹介いただきました、ロータリー財団職業研修チーム委員会 委員長の鈴木と申します。今日はよろしくお話し致します。



名南RCさんは、地区で顔を拝見する方もお見えになるとともに、同じ取引先の協力会の榊原さんや杉山さんがお見えになるので、親しく感じられるクラブだなあと思っております。

先程、浅井副会長さんより地区大会のあり方やロータリーのあり方と言うお話がありました。今、2760地区の未来委員会と言う委員会があり、2760地区のロータリーの将来のあり方などもこの委員会で協議をされているようです。

直近では、次年度は地区に出向される方を減らす、あるいは、地区の委員会が多すぎるから委員会を減らすとの事で、千田ガバナー、田中ガバナーエレクトが中心となって動かれているという事を聞いています。先程、坂本幹事より「ロータリアンは汗を流して活動をする」ことが大事だと言うお話がありました。正に、我々財団に身を置く人間としてお金を集めるだけでなく、このお金をどのように有効に我々が活用するか、各クラブの皆様方がその財団のお金を有効に使っていただくかが大変重要なことだと思っております。

まず、ロータリー財団というのは、国際ロータリーの理念・考えのもと承認されたものをロータリー財団が実行する、いわゆる実行部隊であると思っております。非営利法人でございますので、人道的な活動や教育的な活動の考えのもとに補助金を使いながら活動をしていくものです。日本では、比較的色彩的なものが「公益財団法人」になっています。ロータリー日本財団として2010年12月24日に税制上の優遇処置の受けられる公益財団法人になりました。ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが日々の健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすること」で2007年の規定審議会で決定されました。これが『未来の夢計画』の骨子になっています。『未来の夢計画』というのは、2010-11年からパイロット期間として始まりました。今年がパイロット期間の3年目で、来年は世界中が『未来の夢計画』に沿った活動がされることになっています。

この計画は、効果的に寄付金を使うために財団プログラムを見直すということで、これまでは寄付をするだけだったものが「汗をかく活動」が見直されたということです。2005年4月に夢未来委員会が設置され、2008年にRIの理事会で承認され2010年からパイロット期間が始まったのです。

財団の目標は、健康状態の改善、教育への支援、貧困を救済する、親善、平和、解決でこれを6つの重点分野に分けました。ポリオはまた別ですが、ロータリー財団の中で一番重要な活動だということです。インドとアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの4カ国がポリオの発生国とされています。インドは2~3年発生していないようで終息に近づいていますが、残り3カ国はあともう一息だと思われれます。それ以外に、水と衛生、疾病予防と治療、母子の健康、基本的教育と識字率の向上、経済と地域社会の発展、そして平和紛争解決の6つが重点分野です。これが『未来夢計画』の重点活動になっています。

新地区補助金とグローバル補助金ですが、川村さんが年次寄付の委員会に所属されていますが、年次寄付はこの2つの補助金に使われています。新地区補助金は、ロータリーにふさわしいものであればプロジェクトに制限はなく、2760地区の裁量で実施が可能です。グローバル補助金ですが、よくわからないと言われます。6つの重点分野に関連し、長期的に大きな成果をもたらす活動ができるものを支援しています。私は、職業研修チームの委員長をやっていますが、このチームはグローバル補助金を使った活動をしている、財団の中の実行部隊です。

『未来の夢計画』の良い点、悪い点ですが、良い点は新地区補助金を使いやすくなったことで、地区、クラブの裁量が増した奉仕活動の開所基準が低くなり奉仕活動額が増額したことです。マイナスの点は、グローバル補助金は使いづらいと聞いています。重点分野の傾向は、水と衛生、基本的教育と識字率、疾病予防と治療の3つにこの補助金が使われることが多いです。地区の活動資金の流れですが、今までは年次寄付と恒久基金の利益がDDFとWFに分かれて出されていて、これを100とするとDDFとWFを50と50に配分され、地区の補助金はその他のDDFの20%しか使えませんでした。『未来の夢計画』に変わってからDDFの補助金の中で新地区補助金が50%、グローバル補助金が50%で、それまで20%しか使えなかったものが地区で50%丸々使えるようになりました。DDFの50%の内のまた50%が新補助金として地区の裁量で使われるもの、グローバル補助金として重点分野6分野で使われるもの、として使える金額が多くなりました。

マッチング・グラントというのは、グローバル補助金とWF（国際活動資金）の両方を使い、例えば予算が300万円掛かるものであれば丸々使えます。新地区補助金の場合、100万円のプロジェクトがあるとすれば50%ぐらいは新地区補助金から出て残りはクラブ負担になっています。これがグローバル補助金を使うと重点分野6分野のプロジェクトならば100%使えます。是非、名南RCさんもグローバル補助金を使った事業にトライしてもらえると良いのではないかと思います。それを使うと年次寄付の75%使うことになります。

年次寄付の最近の実績ですが、年々多額の寄付を皆様からいただき、財団にご理解いただき寄付が増えているのがこの数字で分かります。名古屋名南RCさんは、昨年の実績で会員数59名、寄付額一人当たり\$207.34、寄付総額が\$15284.04という多額な寄付を頂いております。2760地区の平均が約\$138なので、

平均より大変多く頂いていることを感謝申し上げます。

もう1点、ロータリーカードです。これは各クラブで必ずPRして欲しいと言われています。スタンダードとゴールドがあり、スタンダードカードは年会費無しで、ゴールドカードは年会費10,500円でその内3,000円が財団に寄付されると聞いています。どちらでも結構ですが、是非ともロータリーカードを作っていただきたいと思います。

会長エレクトがお見えだと思いますが、そろそろ次年度のプロジェクトの計画を考えていただき、立てられると良いのではないかと思います。MOUというのがありまして、覚書ですが地区とクラブとの契約書を交わしていただき、補助金が利用できることになります。地区も財団本部とMOUを毎年交わしています。そろそろご案内が行っていると思いますので、今年の12月からプロジェクトの考えを開始していただき、来年2月には地区に計画の申請をし、財団の補助金承認会で調整され財団本部に提出されるのが来年4月です。是非お忘れなきようお願いいたします。

それと、今日皆様方のお手元に「ロータリーの友」が配られています。12ページに私の記事「VTTの実践」が載っています。世界で100地区がパイロット地区に指定され日本では6地区がパイロット地区に指定されています。世界中でVTTのプログラムを始められたのですが、日本では2760地区だけが実施することができました。2010-11年はアメリカ・テキサスのヒューストンメディカルセンターに医師と看護師、助産師を派遣しました。2011-12年の5月には、オーストラリア・ブリスベンの医療機関とソロモン諸島のギゾ島に行きVTTの医療研修をしました。前年度は名古屋大学付属病院の心臓外科の先生、名古屋市立大学病院の消化器外科の先生、愛知県がんセンターの消化器外科の先生、名古屋第二赤十字病院の整形外科の先生4名の一般の医師を名古屋栄RCの西村忠郎さんという耳鼻咽喉科の先生にチームリーダーとして行っていただきました。今年もカナダのオンタリオに派遣予定で申請中です。当地区はVTTの活動も盛んにしております。

走ったような報告でしたが、ロータリー財団・職業研修チーム委員会も頑張っておりますので、今後とも皆様方のご理解、ご協力をいただきたいと思います。ありがとうございます。

第 1026 回例会 (11月27日) のご案内

外部卓話 (第2回)

名古屋学院大学 学長 木船 久雄さん

■ 11 月度理事会 議事録 ■

報告者 本多 利郎さん

日時 2012年11月13日(火) 19:40～
場所 名古屋マリオットアソシアホテル
17F『パイン』

出席者 宮壽、浅井、白藤、坂本、山本
入谷、本多、森田、加藤、川村
児島、大橋、東山

17名中13名参加

◎審議事項

一、退会届の件 <幹事 坂本 晃さん>
林 隆二さん11月末退会後、名誉会員へ推挙の
予定

◎協議事項

一、12/24(月)地区補助金事業の件
<社会奉仕委員会 加藤 英敏さん>
新城RCにもチケット販売の協力を呼びかける。

◎報告事項

一、プログラムの件
<会場運営・プログラム委員長 児島 徳和さん>
1/15 会員卓話 大塚耕平さん、もしくは秘書の方
1/22 外部卓話 幹事主治医等検討する。
1/29 未定

一、12/18 忘年家族会の件
<親睦活動・家族委員長 大橋さなえさん>
プログラム内容としては、ピアノ演奏・合唱団・ダ
ンス部会・ビンゴゲームなど
ビンゴゲーム景品については、会員の方へ提供して
いただくよう声かけをする。

一、1/8 新年ゆったり例会の件
16:00より熱田神宮参拝、その後蓬萊軒本店にて
18:30～例会

◎その他

一、IMクラブ紹介について
当クラブとしてはエントリーなしとする。

※次回のご案内

12月4日(火)
名古屋マリオットアソシアホテル
17F「パイン」 17:00～